

4 - 8

わたしの家族



活動

ぶんしょう よ
文章を読み、内容に合った絵
さが
を探す。

かたち



時間

● ● ○

せつめい編

談話の技術

準備するもの

使うことば

ひとり ふたり にん か ぞく きょうだい とう
一人、二人、～人、家族、兄弟、お父さん、
かあ にい ねえ おとうと いもうと
お母さん、お兄さん、お姉さん、弟、妹、
おじいさん、おばあさん、しょうがっこう ちゅうがく
こうこう だいがくせい いぬ なまえ ぜんぶ
高校＊、大学生＊、犬、名前、(全部)
それから

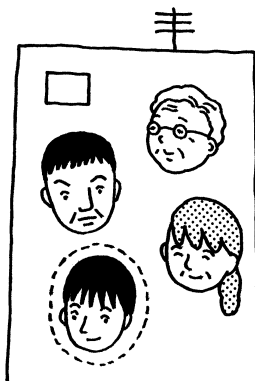
手 順

1. <モデルテキスト>(1)～(4)を読み内容
にあ へ えら
に合った絵を選ぶ。

モデルテキスト



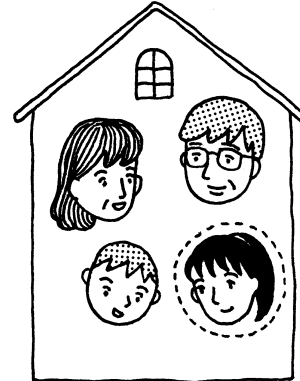
a.



b.



c.



d.

(1) わたしの かぞくは 四人です。お父さんと お母さんと
おばあさんが います。わたしは 高校1年生です。

(2) わたしの かぞくは 四人です。お父さんと お母さんと
おとうとと わたしです。おとうとは 中学2年生です。

(3) わたしは 二人きょうだいです。おねえさんが 一人 います。
それから おじいさんと おばあさんと お母さんが います。
かぞくは ぜんぶで 五人です。

(4) わたしは 三人きょうだいです。おにいさんと いもうとが
います。おにいさんは 大学生です。いもうとは 小学校6年生です。
お父さんが います。それから、いぬが います。名前は ポチです。

こた
答え

(1) b. (2) d. (3) c. (4) a.

バリエーション

(1) テープを聞いて、内容に合った絵を選ぶ。

(2) 絵を見て、その家族の中のだれかになっ
たつもりで家族を紹介する。

(3) 家族の呼称について父、母などもちい
しよに教える場合は、上のテキスト中の
語彙を入れ替える。

(4) 男子の場合は、「わたし」を「ぼく」に
入れ替えることもできる。

(5) 学習者が自分の家族について書く。そ
の後で教師がだれかの作文を音読し、
学習者はだれの家族か考える。

先生へ

・クラスで自分の家族について話したくない学習者がいる場合、学習者が考えた家族を使って
練習してもよい。

・『写真パネルバンク』V. 日常生活シリーズ家族1～4が利用できる。